

第110号
ボランティア情報 ふじいでら

プラム

社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会
藤井寺市ボランティアセンター
藤井寺市ボランティア連絡会
〒583-0035 藤井寺市北岡 1-2-8
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp
URL <http://www.fujiidera-shakyo.net>



『万緑の中や吾子の歯生え初むる』 中村草田男

(意味：初夏の生命力旺盛な草木の下、笑った吾が子の口の中を見ると歯が生え始めていた。)

中村草田男・・・日本の俳人（1901年～1983年）

それでは、プラムの始まりです。

平成24年度

ボランティア連絡会総会・報告

平成24年5月9日、市立福祉会館（ふれあいセンター）にて、ボランティア連絡会の総会が行われました。松田会長のあいさつの後、平成23年度の事業報告・会計報告と、平成24年度の事業計画が、発表されました。

その後、ボランティア連絡会の加入グループの中から、健康体力教室による体操と、おはなしころりんによる昔話、そしてNICE!藤井寺バンド・手話サークル藤井寺・いきいき歌体操による共演が披露され、参加した関係者の方たちも、一緒に歌ったり、体操したりして充実した楽しい総会となりました。（42名参加）



会長によるあいさつ



グループ発表は盛り上がりました

今年も、全16団体で、頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

平成23年度大阪府市町村ボランティア連絡会

研修交流会・報告

平成24年2月27日（月）、大阪国際交流センターで、大阪府市町村ボランティア連絡会の研修交流会が行われました。第1部には、「災害復興支援プロジェクトの取り組みと避難者の声」として、豊中市社会福祉協議会の勝部さんからの報告が行われました。

第2部には、福祉と共生のまちづくりフォーラム【「明日は必ず来る！南三陸」～復興への兆し～】が開かれました。

フォーラムには、最初、宮城県南三陸町社会福祉協議会の猪又さんが登壇しました。

東日本大震災が発生した当日の様子をDVD映像で振り返りながら、南三陸町災害ボランティアセンターの活動状況と課題についてのお話がありました。

町の約62%が流出、町の人口の約5%が死亡・行方不明、ライフラインが全滅した南三陸町。そのような状況の中で、災害ボランティアセンター設置に関して、困難な状況が多々あったそうです。しかし、NPO法人や個人ボランティアの積極的な協力や、国の補助金で、被災者支援のモデル事業である被災者生活支援センターを併設し設立するなど復興に向けて歩みを少しずつ始めているとのことでした。

その他、“東大阪市社会福祉協議会の災害時支援活動”について西事務局長から。“岩手県大槌町への支援活動”について大阪府社会福祉事業団の松本氏から。“大阪府における地震・津波対策の現状と今後”について大阪府危機管理室の川路さんから報告がありました。

共通して言えることは、震災は、他人事ではなく、日頃からの防災・減災に関する知識や、心構えをしっかりと持つことがとても大切であるということでした。

* 当日の資料について閲覧希望の方は、ボランティアセンターの掲示板に置いてありますので、ご覧下さい。



【第1部の研修の様子】

第17回ふくしまつりについて

毎年、多くの市民の方に御来場いただいているふくしまつりも今年で、17回を迎えました。今年も実行委員会のもとで、“**相互の交流、市民参加による福祉への高揚、福祉の街づくりの推進**”を目的として開催する予定です。

【開催日】平成24年11月11日（日）

【場 所】市立福祉会館（住所：藤井寺市北岡1-2-8）



詳細は、次回以降のプラムにてお伝えします。また、当日・前日のボランティアさんについても募集する予定ですので、お時間ある方は、ふるってご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

くちよボラ始めてみませんか？【くちよボラ・・くちよとしたボランティアの略語】>
使用済み切手・カード収集にご協力下さい。

藤井寺市ボランティアセンターでは、藤井寺市ボランティア連絡会と共同で、使用済み切手・カードを集めています。集めた使用済み切手・カードは、神戸市にある NPO 法人誕生日ありがとう運動本部に提供しています。

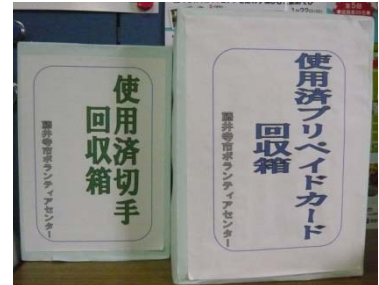
誕生日ありがとう運動とは、1年に1度訪れる誕生日を機会に、自分が今日生かされていることに感謝し福祉活動に目を向けようという運動です。

主に知的ハンディキャップ問題の啓発図書の発行や市民向けの福祉講座などを開催されています。

また、活動財源の確保のために募金を募ったり、収集した使用済み切手・カードを加工し授産製品として販売しています。

回収箱は、ふれあいセンター1階の社会福祉協議会内に設置してあります。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いします。



求む！傾聴ボランティア



傾聴ボランティア「やまびこ」では、私達と一緒に傾聴活動をしていただけるボランティアさんを募集しています。人の話を聴くのが好きな方、傾聴に興味のある方はぜひ下記までご連絡ください。初めての方も勉強会に参加してみませんか。

活動内容：主に高齢者のお話し相手（傾聴）をしています
 毎月、定例会や勉強会をしています

活動場所：市内の施設（デイサービスなど）、個人宅などへ
 伺って活動しています

お問い合わせ：傾聴ボランティア「やまびこ」
 TEL：072-939-1192（代表：鈴木）



求む！ボランティア

(連絡先) TEL: 072-938-8220
MAIL: fureai@silver.ocn.ne.jp

募集NO.32

活動内容：身の周りのお掃除、入浴後のドライヤー、洗濯の手伝い
*年齢不問。初めての方でも丁寧に説明します。曜日・お時間は応相談下さい。
実施場所：藤井寺特別養護老人ホーム（住所：藤井寺市藤井寺4-11-7）
お問い合わせ・お申し込みは直接発信者へ [TEL:072-952-0008](tel:072-952-0008)



募集NO.33

活動内容：親・子（0歳～就園前）の集まりの見守り
日時：赤ちゃんの日 6月4日、15日、18日、29日
実施場所：つどいの広場（住所：藤井寺市小山9-1-16）
お問い合わせ・お申し込みは直接発信者へ [TEL:072-936-0011](tel:072-936-0011)



(つどいの広場 スタッフ)

歴史上の人物④（社会福祉分野）



糸賀一雄 (1914年～1968年)

日本の障害者福祉を切り開いた第一人者。知的障害児等の入所・教育・医療を行う「近江学園」創設し、園長となる。「この子らを世の光に」という信念をもって福祉と教育にあたった。
[滋賀県大津市](#)での県新入職員のための講演中に持病の心臓発作で倒れた。

ボランティア用語集 NO. 6

⑯社会福祉法人 (social welfare corporation)

社会福祉事業法第2条が定める第一種社会福祉事業（主として入所施設を経営）と、第二種社会福祉事業（主として通所施設、在宅サービスを経営）を行うことを目的として、同法の規定により設立される法人。設立には都道府県知事または厚生労働大臣の認可が必要で、その運営にも行政の指導・監督が及ぶ。経営安定化のために厳しい要件もあり、たとえば、設立に際しての資産として、社会福祉施設についてはその不動産が、施設以外については基本財産が1億円以上との基準がある。

⑰腎臓バンク

骨髄バンクとは、財団法人骨髄移植推進財団が主体になり、骨髄移植を必要としている血液難病の患者さんと、患者さんのために骨髄を提供したいという尊い志のある人との橋渡し役を担う組織的な活動のことである。骨髄バンクの活動は、厚生労働省、日本赤十字社、都道府県、医療機関、ボランティア組織等の多くの関係機関の連携で成り立っている。

【問合せ時間】 月～金曜日（土・日・祝除く） 午前9時～午後5時30分